

みき通信

日本共産党 町議会議員
くぼたみき 活動報告

第 65号 2016年 12月 25日

発行 **がんばれ くぼたみきの会**

連絡先 875-7126 (阿部)



あの事、この事どうなってるの？

「一般質問」を行いました

町議会議員 **くぼた みき**

第4回定例会で一般質問を行った議員は13人中7人。「一般質問の場は、政策に取り組み、政策に生きるべき議員にとって、もっとも意義のある発言の場であり、住民からも重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場である」と、私は毎議会一般質問を行っています。質問が終わると、時間が足りない、もっと端的に分かりやすく、もっと突っ込めば良かった。等など、いつも反省ばかりです。

学校給食が、小中学校合わせたセンター化に向け動き始めました。センター化のメリットの一つは、アレルギー食への対応が良くなるというもの。食物アレルギー事故発生に対し、エピペン（アナフィラキシーショックに対する緊急補助治療薬）を使った訓練を行っている自治体もあり、即効薬である「エピペンを打つのにためらいがあった」という声も聞いています。町の対応状況、研修等を質問しました。「教員が外部研修を受講し、今後も増やしていく。統一的な指針を協議中」という事。また、小学校各校にいる栄養教諭(士)がセンター化により県費対応の2人になる懸念には「調理室のアレルギー対応スペースに、栄養士配置を町単独でも行うべきと検討している」ということでした。

27年度に復活した高校奨学金制度の予算は、旧制度の半分。審査基準と途中申請への対応を質問したところ「県の奨学給付金制度を参考にした。途中申請でも対応する」人数に打ち切りはないものの、国の制度基準ではなく、所得制限の厳しい県基準に合わせた残念な結果です。

高齢者ドライバーによる事故が多くなっています。しかし生活実態を考えると、ただ免許証の返還を迫るだけにはいきません。免許証返還を促すため、横須賀市で行っている「ふれあいパス」の様なバス代補助やタクシー券発行など取組みを提案しました。「第7期高齢者福祉計画策定時のアンケートや、住民の意見を聞いて社協と一緒に、何ができるのか考えている」と。早急な対応が必要です。最後に緊急通報システムの周知方法の改善を求め、「警察が高齢者宅へ訪問時に、緊急通報のチラシを配ってくれる」と、安心に一歩近づいた気がします。

12月議会を傍聴して

12月2日、窪田美樹議員の一般質問を傍聴しました。

質問は①学校給食の対応、進捗状況 ②子供の貧困と就学援助 ③高齢者福祉でした。③の高齢者福祉については町長が答弁しました。29年度に介護保険の要支援1・2が町の自己負担に移行するようにについて、サービス低下しないことを保証するといいいながら、その方法は町内会、自治会、民生委員、NPO、介護事業所などに依頼するというだけで、町がやることは一つもありません。

①について中学校給食は、小学校給食室の老朽化もあるので、早期のセンター対応を協議中で、32年度の開始を目指しているそうです。アレルギー対応に万全を帰することはもちろんですが、**もし症状が出てしまった時の対応も強化するよう、みきさんは要望しました。**

②は就学援助金については、入学準備にお金が必要になる小学6年のうちに支給してほしいという要望に対して、他の自治体を調べる。ということでした。

1時間の中でたくさん質問があり、みきさんは早口にならざるをえず、町の答弁も不明瞭で聞き取りにくく、困りました。

がんばれくぼたみきの会

PKO派遣5原則に反して、南スーダンに派遣された自衛隊。

とうとう沖縄の海に墜落した危険なオスプレイ。

国民の命や暮らしよりも、一部の利益や富のために、議論を尽くさず、数の力で強引に進む異常な国会。

自民党はもとより、これを助ける公明党、維新の会の責任も重大です。

市民の共同と野党共闘の運動で、希望の道が開かれています。

あきらめず力を合わせていきましょう。